

おんじゆく

第290号

町勢特集号

昭和62年12月



マリン・リゾート御宿をめざして

はじめに

1987年の最後をかざる「町勢特集号」を発行します。この特集号は、町政の1年間のあゆみを、数字を中心に編集しみなさんにお知らせするものです。

資料をよせられた関係機関の方々に厚くお礼申し上げます。

目次

- ◆みんなであつこうろろ
「マリン・リゾート御宿」……………2
- ◆行政全般……………3
- ◆財政・総合開発・上水道……………4
- ◆農林業・漁業……………5
- ◆観光……………6
- ◆商工業・町営プール……………7
- ◆生活環境・建設……………8
- ◆保健・国民健康保険……………9
- ◆教育・社会福祉……………10
- ◆防災……………11
- ◆資料編……………12
- ◆おんじゅく暮らしの
ダイジェスト……………30
- ◆おんじゅくの唄……………31
- ◆官公署・団体施設……………32

みんなであつこうろろ 「マリン・リゾート御宿」



御宿町長
滝口 栄 蔵

わが国の社会経済をとりまく情勢は、人口の高齢化や国民の

価値感の多様化、高度情報化や国際化の進展など、大きく変貌をとげつつあります。

本町においても、こうした時代の要請をみすえながら、住民福祉の向上を図る行政運営が必要となっております。

私は就任以来、次の四つの基本施策を定め、議会並びに町民のみなさんと一体となった「まちづくり」に取り組んでいます。

○公正で心のかよう町づくり
○産業を振興し、活力ある町づくり

○教育、文化、スポーツの町づくり

○健康と福祉の充実した町づくり

この基本施策を具体的に、より効果的に実現していくためには、町民のみなさんに、町をよく理解していただくことが必要だと考え、「開かれた、わかりやすい行政」を目標に、「一日秘書」制度や「まちづくり町民大学」、「公共施設見学会」を新たにスタートさせました。

町民のみなさんに、町の実態を知っていただき、みなさんの意志を反映させながら、産業と自然が調和した「マリン・リゾート御宿」を目標としました。まちづくりを進めたいと念願して

「マリン・リゾート御宿」を目標としました。まちづくりを進めたいと念願して

基幹産業である農・漁業の振興とともに、両産業との調和を図りながら、観光施策を積極的に進める——急務である駐車場の確保。環境の整備。花と緑とスポーツ・レクリエーション施設建設による農村地域の特性をいかした新たな観光地域づくり。多彩なイベントによるイメージアップ——町の将来を展望しながら、みなさんと共に推進していきたいと考えています。

このほか、上水道の未給水地域の解消や、役場庁舎建設問題は、その緒に就いたばかりですが、重要な課題として関係機関と積極的に協議し、計画を進めてまいります。

複雑、高度化する社会情勢にあつて、きめ細かな行政が望まれています。常に「町政は町民のためにある」を基本姿勢に町職員と一丸になって、明るい活力のあるまちづくりを進めてまいります。

この「町勢特集号」は、町の一年間の総決算として、また、新しい年へのステップとすべく統計資料を中心に編集したものです。町の姿を理解され、今後一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昭和62年 町のあゆみ

7月	26日	12日	6月	24日	23日	15日	5月	26日	12日	1日	4月	6日	3月	11日	2月	28日	15日	7日	5日	1月
日	日	日	月	日	日	日	月	日	日	日	月	日	月	日	月	日	日	日	日	月

住みよい豊かな町づくりをめざして

住民生活優先の町政を基調に「基本構想」に定められた住みよい豊かな町づくりの実現を図るため、次の六つの柱を基本に町政を進めていきます。

一、基本的条件の整備

都市計画の指定について検討する。

二、教育・文化の向上

①義務教育

人間性豊かな児童、生徒の育成を図るとともに、施設・設備の充実と教育機器の整備を促進する。



町長、町議の身近な選挙が行われた。(4月、9月)

②社会福祉

三、福祉・医療の充実

①保健・医療

保健所や医療機関と連携・協力し、各種検診や相談業務の充実を図る。

②社会福祉

四、産業振興

①農林業

地域ぐるみで地域特産物として振興できる作物の栽培促進と水田農業全体の生産向上を目的とする。また、自然を守るという広い視野に立ち、林業の振興を図る。

②水産業

水産機能施設の整備と漁港機能の改善を図る。

③観光

マリリゾート御宿、四季型観光地を目標に、各種イベントの実施を図る。また、観光施設の整備を推進する。

④商業

経営者の研修、商店街等の研究を促進し、消費者ニーズの把握に努め、商業の活性化を図る。

②社会福祉

五、生活環境の整備

①水道

布施及び高山田地域の未給水区域を解消するため、水源調査等を行い給水開始に向けて順次計画を進めて行く。

②ごみ処理・環境浄化

処理能力を十分に生かすため、自動選別機の導入を検討する。粗大ゴミの共同処理施設の検討。

21日	海と山の子交流会
8日	御宿町花火大会
9日	防災訓練
1日	第三回定例議会
7日	敬老会
13日	「一日秘書」制度始まる
16日	町議会議員選挙(投票率93・84%)
20日	第二回臨時議会(新しい議会構成決まる)
8日	町民体育祭
10日	「まちづくり町民大」開講
12日	「谷内六郎展」を開催(18日)
16日	夷隅農林業まつり・消費生活展
18日	「ひまわり号」で障害者ら六百人が来町文化祭(13日)
2日	磯つり大会、合同七夕子祝
15日	施設見学会(18日)
16日	「観光おんじゅくアクトイブ一〇〇」設立総会
17日	千葉県東方沖地震で家屋などに被害
17日	第四回定例議会

財政

財源確保と行政合理化で

町づくりの積極的投資

昭和六十二年度の予算は、国の税制改正により、所得税・法人税の減税、売上税の導入と利子優遇税制の廃止などが見込まれ、多くの地方自治体では、売上税に係る増収分（売上譲与税

したが、国の財政再建の影響を受けて、地方公共団体への補助金の率の引下げなど、地方財政の運営は年々その厳しさを加えています。

このような状況のもと、依存財源の期待はできませんが、自主財源の確保と行政経費の節減合理化に努め、住みよい豊かな町を実現するため、庁舎、保健センターの建設、水道施設の拡充、観光施設の整備、道路網の整備、産業の振興などに取り組



恵まれた自然環境を念頭においた開発が望まれる

総合開発

地域振興に寄与する開発を

東京湾横断道路の進展とともに、自然環境に恵まれたわたしたちの町は、保養地として、住宅地として、ますます脚光を浴びることが予想されます。

現在進められている夷隅開発B地区計画は、六十三年春に第一期分譲が予定されており、昭和七十年には、全ての工事が完了する見通しです。

自然との調和を考えた町づくりを念頭に、千葉県企業庁、西武不動産との連携を密にし、地域振興に寄与するよう努力しています。

また、御宿町観光発展の重要なポイントとして注目されている「御宿・大原地区観光開発事業」は、既に長い年月を要していますが、引き続き関係機関に働きかけ、その推進を図ります。

み、真に将来のまちづくり、住民福祉向上に寄与する諸施策を

積極的に進めていきます。

上水道

63年春B地区分譲で

経営にも明るさ

日頃、水道事業にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

御宿町の水道事業も昭和五十三年十月に給水開始して以来、九年を経過。水使用量や水道加入者も年々増加してきました。六十三年四月からは、B地区の第一期分譲も予定されており、水道事業創設時の計画目標に向って明るい兆しがみえてきました。

未給水区域解消にも取り組む

しかし、一方では未給水区域の布施・高山田地区は、井戸水の量、質とも悪く、日常生活に支障を期たしています。水源や財政的に難しい面もありますが、行政的不公平を解消するために

種々の調査、資料の作成など諸準備を進め、早期解決を図る考へです。

○昭和六十二年の経営状況
本年度上期の経営概要は、水道料金などで計算される営業収支では、一千五百三十四万六千円の赤字ですが、営業外（各種補助金や受取利息）を含めた経常的収支では、七百五十万八千円の利益となりました。

しかし今後、下期を含めた一年間を展望しますと、諸経費の高騰、仮配水管の除去などの費用が見込まれ、決算時には三、四百万円の赤字が予想されます。次に給水状況については、前年度対比で水使用量が一一・五%の伸び（二十八万トン）。そのうち、夏期（七、八月）の水使用量は五%の伸びとなっており、新規加入者などを考慮すると、水使用料から見た夏季観光の宿泊者数は、横這い状態であると見られます。



農林業

農村環境の整備を

昭和六二年は、三一年ぶりの米価引き下げ、また農畜産物の市場開放など、農政の大きな転換の年でした。

このような中で、町内的には、今年から始まった水田農業確立対策が、一五・六haという大幅な転作面積の増加にもかかわらず

ず、稲作農家の協力により、目標面積五九・〇haに対し、六三・六ha、達成率一〇七・九%となりました。

今年の稲作は、好天に恵まれ、全国の作況指数一〇三、千葉県一〇六と四年連続の豊作となり、当町においても超過米が五三六俵出されました。



好天に恵まれにぎわった「夷隅農林業まつり」(10月)

品質も一等割合が八四・八%とまずまずの成績でした。集荷におけるコシヒカリの割合は三六・二%と昨年と比較して一〇%以上多くなり、また今年から初星が2類に昇格したことなどから、自主流通米比率が六五%程に高まりました。しかし、宮城県、福井県などは、自主流通米比率が八〇%を超え

ていることなどを考え合わせると、まだまだ名柄米の作付けや良質米を作るための種子更新が望まれます。

来年度の転作については、四年連続の豊作の影響を受けて、「三年間は、目標面積を固定する」という方針が崩れ、さらに転作目標面積が増えるものと予想されています。

また、今年度は六年に一度回ってくる夷隅農林業まつりが御宿町で開催され、台風による影響が心配されましたが、天候に恵まれ、町民多数の参加により、

漁業

漁業経営の

安定化を図る

近年の漁業水産物の消費者嗜好は、食生活の多様化、高度化に伴い、中高級魚介類指向にあります。

こうした需要に対応するためには、資源の確保、培養が不可欠です。このため、栽培、管理するための施設の設置、漁業者の漁場管理の推進、アワビ、サザエなどの種苗放流による資源の造成、各種の水産振興事業などによる漁場の改良、造成に積極的に取り組んでいます。

盛況のうちに終了しました。

一方、地域農政の一つの柱となっている農用地利用増進事業による農地の賃貸借は、昭和五六年から実施できるようになり、昭和六一年までに約二一haの流動化が進みました。この制度を利用すると安心して決められた期間だけ借し貸りができ、お互いが希望すれば更新もできますので、農地の集積を図りたい中核農家や兼業農家で農業以外の仕事に専念したい方などには、有効な制度です。今後この制度の一層の活用が望まれるとともに

また、六十三年度より始まる

第八次漁港整備長期計画、第三次沿岸漁場整備開発計画、新沿岸漁業構造改善事業などにより、漁業近代化施設の整備、漁村環境の整備を実施するとともに、観光産業との関連を強化し、流通体制の整備と水産物の有利販売の促進を図り、安定した漁業経営の育成を推進します。

新年度の重点事業として、岩和田漁港局部改良、御宿漁協の漁具倉庫設置、岩和田漁協の船

に農地の流動化を促進するためには、耕作し易い、耕地条件が前提ですので、基盤整備等の話し合いを集落ぐるみで進めていく必要があります、これからの課題です。

昭和六二年度の農林業関係の主な事業をあげると、上布施の芝堰改修、農業公社牧場設置事業の実施、林道向井線の開設、林道実谷線の改良などが行われました。来年度も引き続き、これらの事業を進めていきます。



年次計画で整備が進む漁港施設

揚用シラ設置などを計画しています。

観光

町の特性を活かした 観光地づくり

観光御宿を語るうえで現時点では、まだまだ夏の観光を中心として話しを進めていかざるをえません。そこで、ことしの夏をふりかえっていくつかの反省点をのべるとともにこれからの

観光の進め方についてのべてみましょう。

夏季観光地は、天候の良否によりかなりの入込客に影響がありますが、このことだけで客の増減につながったと判断するわ



建立20周年を迎える「月の沙漠」の夜明け

けにはいきません。

近年、観光に対する客の求めるものが年々変化してきているため、その対応をあやまると入込み実績にも影響がでてきます。

反省点の第一は、民宿を中心とした施設のレベルアップが必要で、施設の改善はもとより経営者、従業員の資質の向上、味の研究、客に対する気配りなど、もちろん海岸売店にもいえることです。特に海岸売店は、第一線で観光客と接する場であり早急に改める必要があります。

第二点は、明るくきれいな観光地づくりが必要です。海岸の美化、河川の浄化、看板の美化、道路や家の周囲など、緑と花と照明施設により明るい雰囲気づくりが望まれます。

第三点は、観光客を親切に迎へ、楽しんで帰すという気くばり、思いやりに配慮する必要があります。

第四は、海水浴客の安全確保のための機器類の導入と救助活動の訓練などをおして人命の尊さをみんなて認識しあう必要があります。

イベントで

観光活性化

このような反省点をこれから

どのように改めていくか、今後の目標をさだめてみることにします。

その第一点は、やすらぎ、くつろげる場づくりとして、民宿を中心とした宿の雰囲気づくりと郷土料理の再発見と新しい味づくりを考える必要です。海岸売店にもいえますがきめ細かな心づかいが欠かせません。

第二点は、美しい風景、街並、商店のディスプレイ、人びとの服装、言葉づかいなど、もちろん案内標識、看板など街へ一歩をしるしたときの雰囲気、強烈な印象と御宿のアピールを考へる必要があります。

第三点は、くつろぎのできる思いやりのある施設づくり。駅のホームのベンチ、駅前広場の

憩いの場、街頭の案内係、標識のなかの施設への所要時間の表示など。また御宿ふるさとだよりなどにも気をくばる必要があります。

第四は、観光客に安心して楽しめる海水浴場づくりのため人命救助の徹底をはかるための安全施設の導入と機動性を発揮するための機器類を整えます。また人命救助の実践など安全体制を整えます。

最後は、御宿の特性をよくみきわめ、歴史、風俗、伝説、民話、昔からの行事をいま一度見直し地域に根づいた新しいイベントづくりによって観光の活性化をはかり、これら施設を基盤にして、マリニゾート形成を目指していきます。



復活した花火大会（8月）

商工業

商業振興は

観光と一体となつて

企業進出に

法のバックアップ

(工業)

半島振興法による製造業の税負担軽減措置(償却資産に対す



東隅農林業まつりと同時開催された消費生活展

性への施策として期待されます。また、農村部など未給水区域の解消によって、企業進出や雇用の拡大につながるものと思われま

(商業)

消費経済のサービス化が進むなかで、町民の生活水準の向上に伴う消費者ニーズの多様化やショッピングのレジャー化が進むなかで、ますます魅力ある商店、商品へと消費志向が変わっていきます。

中小商業者にもこうした経営環境の変化に的確に対応していくことが求められています。

- このなかで、小売業、サービス業の振興事業として、
- 一、地域商業計画の策定促進
- 二、魅力ある商店街づくり
- 三、商店街コミュニティ活動の推進

四、中小小売業の育成などがふるさと五カ年計画(昭和六十五年

度)にうたわれております。当町の場合、商圏のせまさと消費人口が少ないうえに消費の流出も多く魅力ある商店、商品が絶対的に少ないことがあげられます。今後の対応としては、駅前商店街の形成や観光産業と一体となって商業の振興をはかり、消費志向に対応していくことが望まれます。

当面楽しく遊べる 雰囲気づくり

ⅢⅢⅢ全面改修は今後の課題ⅢⅢⅢ



町 営 プ ー ル

町営プールの入込状況もご多分にもれず、天候依存が強く、海の状況とも密接な関わりがあります。

六十二年度の状況をみますとプール入場者数では、開設以来

四番目の入込みとなりました。これは前半、つまり七月は比較的天候が順調に推移しましたが、

もどり梅雨宣言などで多少出鼻をくじかれたことは否めません。

八月は週末が比較的天候に恵まれず不振に終わりました。

一方、過去十七年間の入場料収入の平均は、一千八万五千円、ことしの入場料収入は、九百五十七万七千円となりました。このようにいままでの推移

をみてくるとほとんど天候、海の状況により実績がでるといことが続いています。

プールの建設が昭和四十五年、営業を始めたのが四十六年。この間、五千二百万円の維持補修費をつぎ込み、施設の保持に努めてきましたが、既に老朽化の

著しい箇所もでており、今後、プール施設全体の改修を考える必要があります。

当面、現状を維持し、プールを利用したくなるような雰囲気づくりを研究していきますが、千九百六十万円の起債の償還金がありますので設備投資にも十分配慮しながら、今後の運営をしていきます。

環境づくりの町づくりは みんなの手で

本年七月環境衛生課の誕生以来、町民の皆さまをはじめ区役員の方々などのご協力を得まして、住みよい環境づくり、住みよい町づくりに専念しています。ここに今後の具体的施策をあげ、基本的な考え方を明らかにし町民の皆さまのご指導を仰ぎたいと思います。

豊かな自然環境は、私たちが父母のごとく抱合してくれませんが、同時にこのような天恵の財産を大切にしていくことは、町全体が発展していくための欠かせない要素であると思われま。それは決して観光客のための町づくりではなく、住民の皆さまが快適な環境のもと、豊かであり文化的な生活をおくること出来る基本的な条件であると確信します。

〈重点項目〉

- (1) 可燃、不燃ゴミ袋の使用実態により分別収集の徹底を図る。
- (2) 夏期ゴミの実態を明確に把握し、より効率的な回収計画を立案する。
- (3) 収集モデル地区を設定し、区役員の皆さまの協力のもとゴミの出し方等についてルールを厳守するよう周知する。
- (4) ゴミ箱コンクール大会などを開催しゴミ箱の研究などにより美化運動への意識参加を図る。
- (5) 公共施設の見学を定期的に行い、相互理解及び、町民の皆さまの行政への意見反映を図る。
- (6) 環境整備員の配置により美化運動をさらに促進する。

二、緑いっぱい花いっぱい運動の全域的展開

この運動を展開するにあたりあくまでも行政だけでなく、住民の皆さまと一体となり、老人クラブ、青年部など、その他

多くの各種団体のご協力を得て一人一人が「自分たちの町づくり」ができるような環境を整備する。

具体的には町有地の一部に花などを栽培し、道路脇、公園などを中心に四季を通して植栽し全域的に花いっぱい運動を展開する。

三、水をきれいにする運動の拡大

ひきつづき河川環境の汚染を防止するため、家庭雑排水など

水をきれいにする運動を広める。具体策として、その地域地域に適した浄化方法を考え実行し、地域ぐるみで浄化意識の高揚へと対処していく。

四、公共施設の維持管理を徹底する

公衆トイレなど、今ある公共施設をきちんと清潔に管理する。

現在の社会動向は、ハードからソフトへ、あるいは、かつての経済成長を支えた重厚長大型

建設 道路・橋・側溝など 機能的な町づくりを推進

わたしたちの生活基盤である

町道は、全般的にみて改良、舗装、側溝の整備とも、十分な機能を果していないのが現状です。

地域別にみると、市街地における夏季の交通渋滞。それに伴う沿道的生活環境の悪化現象。

また、線路から山側地域の未改良、未舗装地域。さらに、町全体の側溝未整備区間に大別されます。

こうした現状を踏まえ、町基本構想並びに各地区の住民代表の意見を尊重し、道路の新設、改良や河川整備など、機能的な

町づくりを進めていきます。

六十三年度の重点目標は、

○夏の交通渋滞緩和と産業振興を目的として、浦仲地先へ海岸道路の新設と地曳橋の拡幅。

○幹線道路は、継続事業である西琳寺線の改良をはじめ、舗装修繕や側溝甲蓋の設置の促進。

○生活関連道路の整備については、三か年計画を踏まえ、地域の要望にそって緊急度の高い所から逐次整備を進める。

○環境美化を考え、側溝清掃をはじめ、維持管理の強化を図る。



る。

○河川改修事業は、裾無川の護岸整備を継続実施するとともに、自然災害防止のため緊急を要するものから実施する。

○農林業の基盤整備を推進するため林道実谷線の改良、向井線の舗装を継続実施するほか、治山工事二か所を計画。

保 健

「健康」の過信は要注意

日本は世界一の長寿国です。男性75才、女性80・8才の平均寿命が示すように、人生はまさに80年の時代です。

高齢化社会は、さまざまな問題をかかえています。その一つに成人病があります。が

ん、心臓病、脳卒中。

これら三大成人病は、御宿町でも全死因の六割以上を占めています。

成人病は徐々に病気が進むため、長い間病気の進行に気付かない事が多いので、病気を早期に見出すには、定期的に検診を受ける事が大切です。



定期的なご利用を (血圧相談)

毎年、町で実施する検診で、無症状のうちにも病気を発見し、一命を取り止めるという例も多あります。このように町では、毎年各種成人病検診等を無料で実施し、みなさんの健康を守るお手伝いをしておりますので、自分自身の健康管理のため、大いにご利用下さい。

町で実施する成人対象保健事業

▽血圧相談 毎月第二金曜日 公民館

▽健康相談 毎月第一木曜日 新久井青年館

毎月第一土曜日 岩和田青年館

▽基本健康診査

▽胃がん検診 毎年一回

▽婦人科検診

▽住民結核健康診断

国民健康保険

保険税はなぜ高い!?

みなさんが「国民健康保険」と聞いて、第一に思い浮かぶことは何でしょうか。おそらく税金(国民健康保険税)だと思

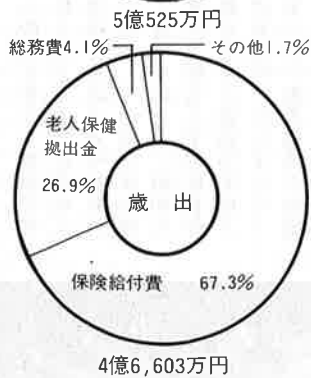
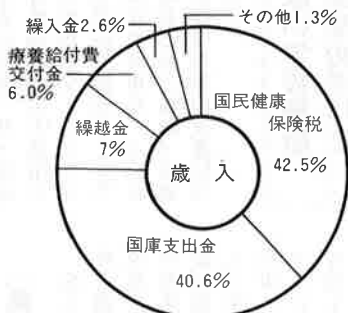
います。「高い、高い」と言われている国民健康保険税。今回は、その仕組みについて、簡単にご説明

しましょう。

国民健康保険は、みなさんが思いがけない病気やケガで困ったときに、みんなで助け合うという「相互扶助精神」を基本として、今日の社会には、なくてはならない制度のひとつです。みなさんが病気やケガで治療を受けた場合、国民健康保険の会計から医療機関へ医療費が支払われます。この時支払われる医療費は、みなさんが負担した国保税と国等からの補助金で構成されています。

つまり、みなさんが医者にかかればかかるほど、医療費支出が増えるほど、国保税も上昇するわけです。言いかえれば、国保税を下げるには、日頃から町で実施している検診事業を上手に使用して、自分の健康管理をすること——これが、みなさんの負担を軽くし、国保財政の健全運営につながります。健康も家計も守るのは、あなたです。

昭和61年度御宿町 国民健康保険特別会計決算



教育

公民館をみんなの

憩いの場、学びの広場に

〔社会教育〕

公民館では現在、二十六の教室、クラブ等を開いています。年ごとに新規加入者が増えています。公民館を利用する各講座への参加率(全人口に対する)を調べると、六十一年度は六・九パーセント。六十二年度は七・二パーセントと低い数値とな

っています。

また、利用者を地区別にみると、公民館に近い地区ほど多く、年齢的には、高齢者の利用が多くなっています。若い人たちの利用をいかに高めるかが、今後の課題と考えています。

利用者の声を聞き、親しみやすい公民館とするよう、各教室やクラブの代表者会議などを開いて、検討をしています。



趣味を通じてふれあいの輪が広がる(七宝焼教室)

- 六十三年度の公民館の運営目標を紹介します。
- 生涯教育の視点を踏まえ、事業、行事を展開する。
- 住民の自主的な学習意欲と人間関係の調和とふれ合い、地域文化の向上、明るい町づくりを寄与する。
- 青少年健全育

社会福祉

地域ぐるみで福祉の ネットワークづくり

今日、地域住民の福祉に対する需要は、社会経済の情勢の変化により核家族化の進行、及び高齢化社会の到来などにより、ますます多様化高度化する傾向



にあり、この傾向は今後一層高まるものと予想されます。このようなことから従来、物質的、経済的なものにより福祉行政の推進を図ってきましたがそれに加えて地域住民の思いやりの精神に立脚した福祉活動が強く望まれています。このような状況の中で地域の福祉需要に応じた適切な福祉サービスに対処するためには、各関係機関、団体、ボランティア、専門家など地域の多くの人の理解と参加協力が不可欠であり、関係者がお互いに連携を深めて福祉サービスの提供にあ

成を期するため学・社一体活動、体育施設の充実と活用を促進し、スポーツ・レクリエーションの活発化につとめる。

○住民が気安く利用し、ふれ合いを深めるため、施設、整備の充実と環境の整備改善につとめる。

よりよい学校施設 の充実をめざして

〔義務教育施設〕

新しい時代を担う、健康で知性と徳性を備えた人間性豊かな児童、生徒を育成する学校教育の充実をめざして小中学校の施設整備を進めています。昭和六十二年度は、御宿小学校体育館の床の張替え及び御宿中学校グランドの整備をいたしました。今後も更により教育環境の整備充実に努めます。



70歳以上のお年寄りを招いての敬老会

たるネットワークづくりが不可欠となります。

そこで、行政施策によるところの公的福祉サービスと、社会福祉協議会など民間福祉サービス活動と協働による多様な社会福祉資源の確保。また現在おこなっております地域ぐるみ福祉ネットワーク事業を推進し、福祉需要に対する的確な情報把握に努める必要があります。

また、現在提唱している小さな親切運動など、ちょっとした心遣いによるところの精神的なサービスなど、地域の連帯感に根ざした心豊かな福祉社会の実現を図らなければなりません。

防 災

安全な暮らしを守るために

災害は、いつ我が身に振りかかってくるか、わかりません。被害を未然に最少限にとどめるためには、住民のみなさんの日頃から防災に対する意識と心構えが大切です。

また、住民の安全を守るため町の防災会議条例に基づき「地域防災計画」を作成し、その実施を推進しています。
◇防災行政無線



避難訓練

六十二年四月、開局。親局一基、地上移動局二十五局、屋外拡声受信装置二十七基、戸別受信機二十五台です。

天災、人災等の発生に関する情報を逸早くキャッチして、住民に情報を提供する。

また、災害発生時には、情報収集センターとして、救助活動や被害状況調査等に役立っています。日常業務としては、行政から

の告知放送として利用しています。

◇消防

本町の消防団は、一本部、八分団、二百六十五名の消防団員で構成され、町内の安全を守っています。また、防災まちづくり事業として、消防団本部に消防車一台（小型動力ポンプ積載車）を配置。これにより、一層消防力が充実されました。

◎消火栓の取り扱い方法

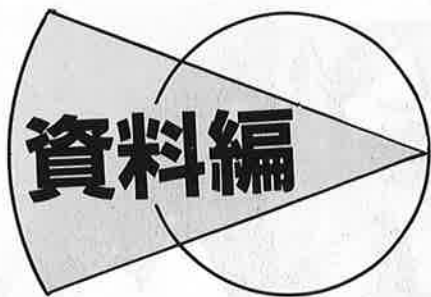
- ①消火栓とホース格納庫（赤い箱）を確認する。（消火栓と空気弁がありますので、間違えないように）
 - ②消火栓のふたを開ける。開閉棒を取り付ける。
 - ③ホースと筒先を取り付けて消火（放水）体制を取る。高い水圧ですから二人以上で持つこと。確認を忘れずに。
 - ④開閉棒で消火栓を「ゆっくりに開く。（必ず守ること）
 - ⑤消火物に筒先を向けて放水する。
 - ⑥消火栓を閉める時は、ゆっくり閉める。
- ※ホース格納庫には、次の用具が準備されています。
- ①ホース三本（一本二〇m）
 - ②消火栓のふた開閉棒
 - ③消火栓開閉棒
 - ④ホースの筒先

消火栓の設置場所

昭和62年12月 現在

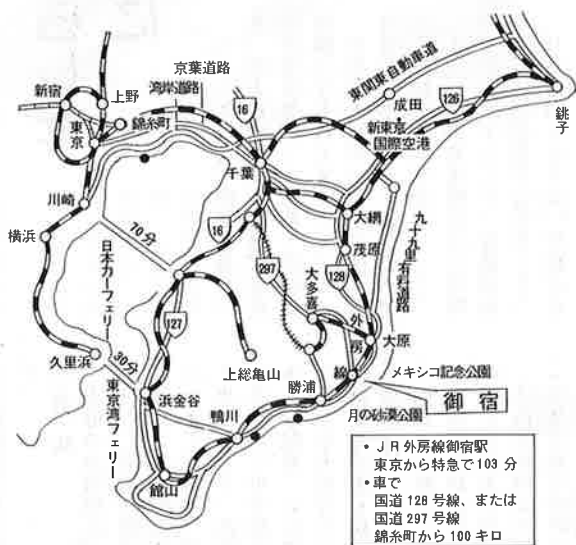
番号	消火せん所在地	地区	番号	消火せん所在地	地区	番号	消火せん所在地	地区
39	井垣健	勝治	20	大地千	亘久保	1	元湯温	泉つ
40	鷹鷹中	六軒町	21	大井上	久保保	2	式大田	浜浜
41	長田金	六軒町	22	天津英	久保保	3	谷田福	蔵
42	立石明	六軒町	23	白鳥由	久保保	4	米本良	司海岸
43	柳健吉	六軒町	24	御宿中	久保保	5	春日莊	前海岸
44	幸保常	六軒町	25	南畑	久保保	6	はまや	商店
45	清水水	六軒町	26	才フク	久保保	7	浅野司	男
46	清小川	岩和田	27	遠藤智	久保保	8	渡辺文	太郎
47	大野元	岩和田	28	町営グ	久保保	9	鶴岡	須賀
48	水野八	岩和田	29	秋葉	賢新	10	伊藤治	須賀
49	水上定	岩和田	30	滝口松	賢新	11	本吉伯	須賀
50	水原忠	岩和田	31	伊藤藤	賢新	12	佐伯	須賀
51	氏原政	岩和田	32	鈴木二	賢新	13	渡辺み	須賀
52	専修大学セ	岩和田	33	大竹恒	賢新	14	須賀三	須賀
53	木原政	岩和田	34	天の守	賢新	15	滝口清	須賀
54	江沢政	岩和田	35	鶴岡喜	賢新	16	滝口高	須賀
55	畑中芳	岩和田	36	松喜弘	賢新	17	中央海岸	須賀
56	嶋村敏	岩和田	37	水谷印	賢新	18	三上信	須賀
57	藤井昭	岩和田	38	鈴木	賢新	19	君塚盤	須賀

数字でみる おんじゅくのすがた



資料編

自然条件



- 沿革……明治22年町村制の施行により、御宿郷の須賀村、浜村、高山田村、久保村の4部落がまとまり、御宿村ができた。
その後、大正3年御宿町と改称。昭和30年町村合併で布施村の一部と浪花村岩和田地区を合併して現在の御宿町となった。
- 位置……御宿町は千葉県の東南部、房総半島中央部東端に位置し、首都東京から75kmの南東方向。
東経140度21分23秒。北緯35度11分2秒の地点にある。
- 面積……25.05 km²

●年別気温・降雨量

年	平均	最高	最低	降雨量
30	16.6℃	34.1℃	-4.4℃	2220.3mm
40	14.9	31.6	-4.8	1639.5
50	15.0	31.2	-2.4	1969.0
60	15.3	31.3	-3.2	1799.0
61	14.8	32.8	-3.2	1966.0

●61年の月別気温

区分 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温	5.1	4.4	8.2	13.4	16.6	19.4	23.1	25.5	23.3	16.7	12.4	9.2℃
最高	15.3	13.3	17.6	21.9	21.8	28.1	32.8	30.4	30.6	26.1	21.4	18.6℃
最低	-1.9	-3.2	-0.5	1.1	9.7	13.0	16.7	18.8	16.1	7.7	4.0	0.6℃
降雨量	24.5	55.5	396.5	110.0	266.0	102.5	189.0	234.5	184.0	238.5	102.0	93.0mm

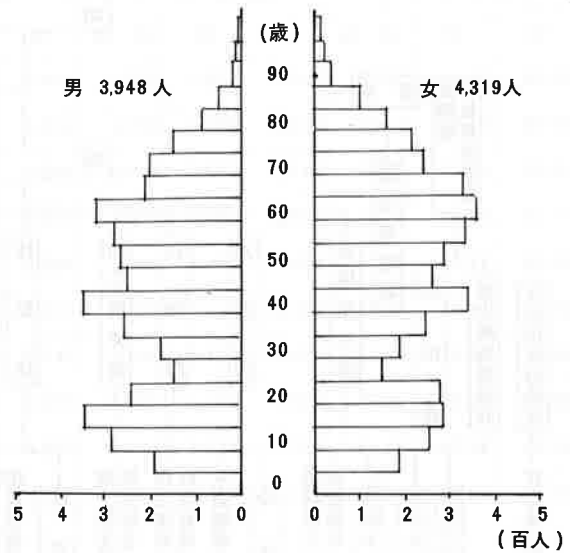
●行政区別世帯数と人口

●5歳階級別人口(昭和60年国勢調査)

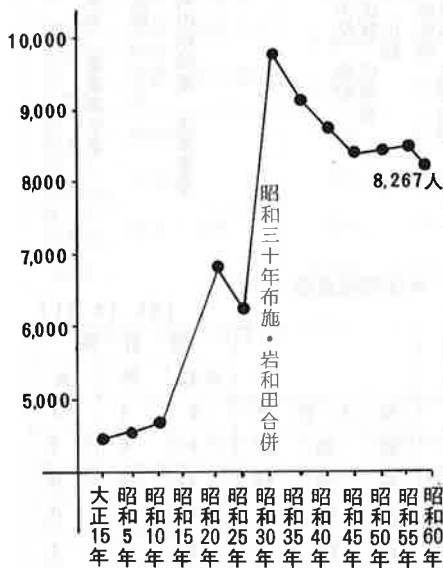
(62.10.1)

区 分	世帯数	人 口		
		男	女	計
須 賀	318	455	497	952
浜	249	407	453	860
高 山 田	95	156	154	310
久 保	341	559	599	1,158
新 町	452	620	716	1,336
六 軒 町	242	354	394	748
岩 和 田	443	737	797	1,534
実谷・七本	125	238	247	485
上 布 施	205	384	406	790
合 計	2,470	3,910	4,263	8,173

(単位:人)



●人口の動き(国勢調査)



●人口の推移(国勢調査)

年 次	世帯数	人 口			1 世 帯 平均人員	人口密度 人/km ²	面 積 km ²
		総 数	男	女			
大正 15	982	4,408	2,122	2,286	4.5	448	9.85
昭和 5	1,022	4,611	2,153	2,458	4.5	468	〃
10	1,016	4,798	2,197	2,601	4.7	487	〃
20	1,196	6,829	3,197	3,632	5.7	693	〃
25	1,307	6,195	2,816	3,379	4.7	629	〃
30	2,022	9,753	4,519	5,234	4.8	389	25.04
35	2,047	9,273	4,313	4,960	4.5	370	〃
40	2,068	8,815	4,053	4,762	4.3	352	〃
45	2,136	8,475	3,853	4,617	4.0	338	〃
50	2,263	8,484	3,960	4,524	3.7	339	25.05
55	2,432	8,486	4,027	4,459	3.4	339	〃
60	2,452	8,267	3,948	4,319	3.4	330	〃

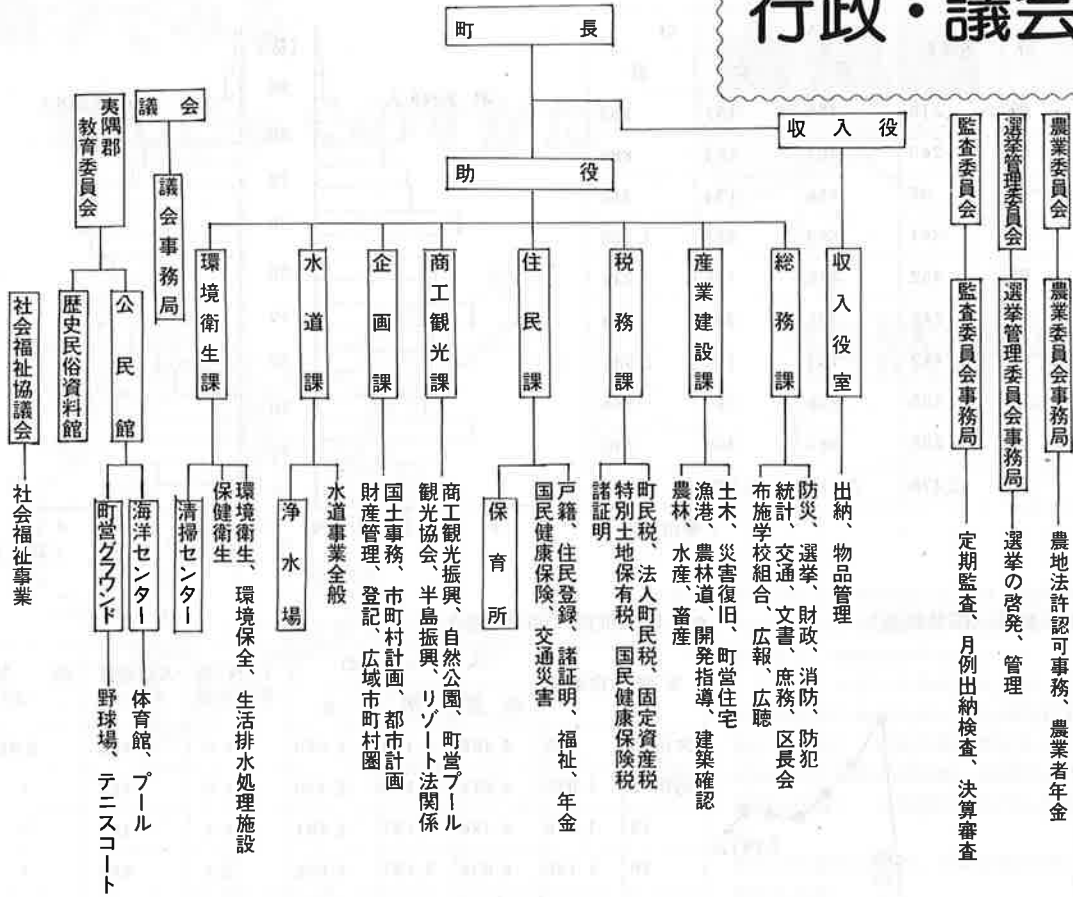
●人口動態

年 度	自 然 動 態						社 会 動 態		
	出生	死亡	自然増減 出生・死亡	死産	婚姻	離婚	転入	転出	社会増減
昭和 30	184	74	110	19	68	9	484	784	△300
40	132	91	41	19	254	9	221	353	△132
50	114	94	20	9	208	13	322	379	△57
60	76	88	△12	4	45	8	319	351	△32
61	81	90	△9	5	35	9	283	283	△0



●行政組織の状況

行政・議会



●議 会

- 議員定数 16人 (法定数22人)
- 常任委員会数 3
- 総務常任委員会 (6)
- 産業建設常任委員会 (5)
- 教育民生常任委員会 (5) ()内委員数

●課別職員数

(62.12.31)

	課 員 数		
	総数	男	女
収入役室	2	1	1
総務課	9	6	3
企画課	3	3	0
産業建設課	8	8	0
住民課	9	5	4
税務課	7	4	3
商工観光課	4	4	0
水道課	6	5	1
環境衛生課	12	11	1
農業委員会	1	1	0
議会事務局	2	2	0
公民館	6	4	2
保育所	20	0	20
社会福祉協議会	1	1	0
合 計	90	55	35

●議会の開催状況

区分 年次	定 例 会				臨 時 会				請願 陳情 件数
	回数	会期	町長提出 議案	議員提出 議案	回数	会期	町長提出 議案	議員提出 議案	
57	4	11	36	6	3	3	5	0	5
58	4	11	46	5	3	3	5	1	5
59	4	11	46	5	3	3	5	1	5
60	4	12	40	6	4	4	2	2	3
61	4	10	46	6	2	2	4	1	3

●最近の選挙における投票状態

選挙名	施行年月日	当日有権者数			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
町長選挙	S 5 8. 4. 2 4	6,335	2,977	3,358	5,556	2,550	3,006	87.70	85.66	89.52
参議院議員 "	S 5 8. 6. 2 6	6,421	3,011	3,410	3,799	1,759	2,040	59.17	58.42	59.82
町議会議員 "	S 5 8. 9. 2 5	6,382	2,997	3,385	5,838	2,693	3,145	91.48	89.86	92.91
衆議院議員 "	S 5 8. 1 2. 1 8	6,436	3,014	3,422	4,973	2,302	2,671	77.27	76.38	78.05
県知事 "	S 6 0. 3. 2 4	6,222	2,914	3,308	2,769	1,287	1,475	44.39	44.17	44.59
衆議院議員 "	S 6 1. 7. 6	6,374	3,001	3,373	4,899	2,240	2,659	76.86	74.64	78.83
参議院議員 "	S 6 1. 7. 6	6,374	3,001	3,373	4,849	2,222	2,627	76.07	74.04	77.88
県議会議員 "	S 6 2. 4. 1 2	6,343	2,970	3,373	3,692	1,683	2,009	58.21	56.67	59.56
町長 "	S 6 2. 4. 2 6	6,359	2,981	3,378	6,019	2,790	3,229	94.65	93.59	95.59
町議会議員 "	S 6 2. 9. 2 0	6,398	3,011	3,387	6,004	2,789	3,215	93.84	92.63	94.92

●投票区別有権者数 (62年9月現在)

区分	投票区域	計	男	女
第1投票区	久保・新町・六軒町	2,530	1,183	1,347
第2投票区	須賀・浜・高山田	1,682	796	886
第3投票区	岩和田	1,237	578	659
第4投票区	上布施	602	282	320
第5投票区	実谷・七本	394	191	203
総数		6,445	3,030	3,415

●歴代町長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
(町長職務執行者)	大地重直	昭和30. 3. 31	昭和30. 5. 15
1	井上文吉	" 30. 5. 16	" 42. 5. 14
2	岩井敏夫	" 42. 5. 15	" 54. 5. 14
3	高梨秀治	" 54. 5. 15	" 62. 5. 14
4	滝口栄蔵	" 62. 5. 15	在任中

●歴代助役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原誠三郎	昭和30. 10. 18	昭和38. 10. 17
2	岩井敏夫	" 39. 1. 10	" 42. 4. 17
3	佐藤清司	" 42. 12. 20	" 45. 10. 31
4	浅野興典	" 47. 4. 1	" 54. 5. 14
5	池田覚道	" 55. 3. 1	" 62. 5. 14
6	大谷良司	" 62. 6. 15	在任中

●歴代議長(町村合併後)

氏名	就任年月日	退任年月日
吉野要	昭和30. 3. 31	昭和32. 9. 30
浅野航海	" 32. 10. 1	" 34. 9. 30
新井清治	" 34. 10. 1	" 40. 9. 30
関龍雄	" 40. 10. 1	" 44. 9. 30
中村喜一	" 44. 10. 11	" 48. 10. 31
江沢富士松	" 48. 12. 4	" 50. 9. 30
岩崎栄一郎	" 50. 10. 1	" 54. 9. 30
石田行雄	" 54. 10. 1	" 56. 9. 30
井上泰爾	" 56. 10. 1	" 58. 9. 30
井上浩一	" 58. 10. 1	" 60. 3. 12
白鳥時雄	" 60. 4. 16	" 62. 9. 30
関野正治	" 62. 10. 1	在任中

●歴代収入役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原誠三郎	昭和29. 2. 13	昭和30. 10. 17
2	佐藤清司	" 30. 10. 18	" 42. 12. 19
3	浅野興典	" 42. 12. 20	" 47. 3. 31
4	和田正美	" 47. 4. 1	" 54. 5. 14
5	岩瀬剛	" 54. 7. 1	" 62. 5. 14
6	吉田庸二	" 62. 6. 15	在任中

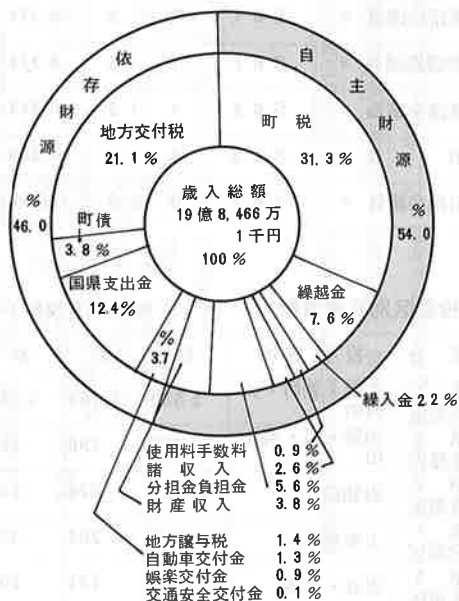
財 政

●昭和61年度一般会計歳入歳出決算

歳 入 (単位 千円)




科 目	年 度		比 較		
	61年度 決算額①	60年度 決算額②	①-②③	③/②	
1. 町 税	622,021	613,882	8,139	1.3%	
2. 地方譲与税	27,421	26,137	1,284	4.9	
3. 娯楽交付税	18,549	17,221	1,328	7.7	
4. 自動車交付金	26,088	24,693	1,395	5.6	
5. 地方交付税	518,741	484,363	34,378	7.1	
内 訳	普 通	463,247	429,855	33,392	7.8
	特 別	55,494	54,508	986	1.8
6. 交通安全交付金	1,181	1,120	61	5.4	
7. 分担金・負担金	111,920	77,499	34,421	44.4	
8. 使用料	8,116	7,963	153	1.9	
9. 手数料	9,438	8,511	927	10.9	
10. 国庫支出金	103,554	140,112	△36,558	△26.1	
11. 県支出金	142,040	91,484	50,556	55.3	
12. 財産収入	74,558	52,600	21,958	41.7	
13. 寄付金					
14. 繰入金	43,646	4,540	39,106	861.4	
15. 繰越金	151,708	128,885	22,823	17.7	
16. 諸収入	51,080	14,283	36,797	257.6	
17. 町 債	74,600	23,000	51,600	224.3	
合 計	1,984,661	1,716,293	268,368	15.6	

●昭和61年度一般会計歳入決算財源別構成比



●61年度住民負担の状況

町民1人当たり・円

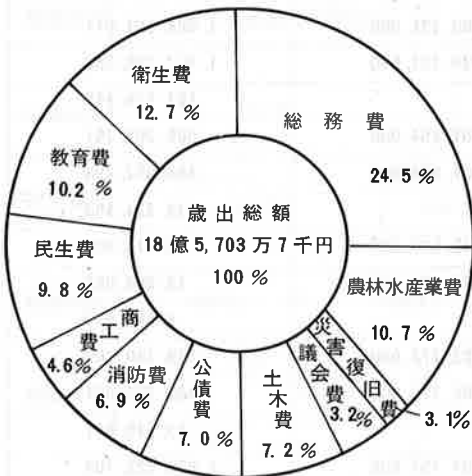
町 民 税 	31,615	たばこ消費税 	5,959
固定資産税 	33,009	電 気 	3,273
軽自動車税 	606	入 湯 税 	25
特別土地保有税	1,166		

(滞納繰越金、国などから交付される固定資産税を除く)

●町税負担状況の推移

区分 年度	町税総額 千円	一世帯当 り負担額 円	一人当 り負担額 円
30	13,618	6,753	1,396
35	15,166	7,408	1,635
40	27,435	13,266	3,112
45	57,725	26,962	6,892
50	187,905	83,886	21,920
55	398,434	165,218	45,823
60	613,882	246,242	72,537
61	622,021	249,207	75,653

●昭和61年度一般会計目的別歳出決算構成比

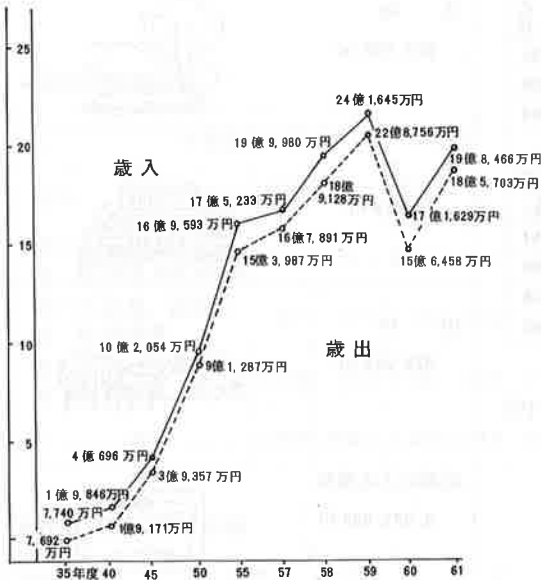


●昭和61年度一般会計決算
(目的別歳出)

(単位 千円)

科目	年度		比較	
	61年度 決算額①	60年度 決算額②	①-②③	③/②
1. 議会費	58,862	53,309	5,553	10.4%
2. 総務費	457,190	374,548	82,642	22.1
3. 民生費	181,626	176,311	5,315	3.0
4. 衛生費	236,728	118,154	118,574	100.4
5. 農林水産業費	199,114	197,371	1,743	0.9
6. 商工費	85,430	52,938	32,492	61.4
7. 土木費	133,544	133,387	157	0.1
8. 消費費	128,573	36,232	92,341	254.9
9. 教育費	189,644	181,852	7,792	4.3
10. 災害復旧費	57,072	76,476	△ 19,404	△25.4
11. 公債費	129,254	164,007	△ 34,753	△21.2
合計	1,857,037	1,564,585	292,452	18.7

●一般会計決算額の推移



(性質別歳出)

(単位 千円)

区分	年度		比較	
	61年度 決算額①	60年度 決算額②	①-②③	③/②
1. 消費的経費	1,116,249	1,014,438	101,811	10.0%
(1)人件費	506,545	473,717	32,828	6.9
(2)物件費	204,391	197,549	6,842	3.5
(3)維持補修費	2,922	2,610	312	12.0
(4)扶助費	13,735	13,847	△ 112	△ 0.8
(5)補助費等	218,538	218,580	△ 42	-
(6)その他(積立金等)	170,118	108,135	61,983	57.3
2. 投資的経費	583,707	356,616	227,091	63.7
(1)普通建設事業	526,635	280,140	246,495	88.0
(2)災害復旧事業	57,072	76,476	△ 19,404	△25.4
3. 公債費	129,195	163,982	△ 34,787	△21.2
4. 繰出金	27,886	29,549	△ 1,663	△ 5.6
合計	1,857,037	1,564,585	292,452	18.7

●財政の変遷〔普通会計〕

(千円)

年度	当初予算額	決算			基準財政 需要額	基準財政 収入額	地方 交付税額	財政力 指数
		歳入	歳出	差引残高				
56	1,402,900	1,644,530	1,533,306	111,224	778,854	375,672	458,482	0.453
57	1,447,456	1,774,402	1,696,538	77,864	812,529	393,986	477,672	0.476
58	1,563,647	2,017,822	1,905,899	111,923	831,696	420,031	465,848	0.487
59	2,450,909	2,436,408	2,300,864	135,544	894,053	441,501	500,694	0.491
60	1,344,447	1,736,930	1,579,733	157,197	954,976	523,785	484,363	0.512
61	1,632,489	2,003,240	1,870,721	132,519	981,921	517,409	518,741	0.523

●昭和61年度会計別決算

(円)

会計別	区分	予算額	決算額
一般会計	歳入	1,889,131,000	1,984,661,011
	歳出	1,889,131,000	1,857,036,566
	差引残額		127,624,445
国民健康保険特別会計	歳入	507,254,000	505,251,751
	歳出	507,254,000	466,037,298
	差引残額		39,214,453
プール特別会計	歳入	15,600,000	18,578,939
	歳出	15,600,000	13,684,005
	差引残額		4,894,934
老人保健特別会計	歳入	382,772,000	379,730,702
	歳出	382,772,000	365,755,091
	差引残額		13,975,611
総合計	歳入	2,794,757,000	2,888,222,403
	歳出	2,794,757,000	2,702,512,960
	差引残額		185,709,443

●水道事業会計決算 ー昭和61年度ー

●収益的収入及び支出
(収入)

(円)

区分	予算額	決算額	予算額に対する増減
水道事業収益	142,602,000	154,580,784	11,978,784
営業収益	71,540,000	81,793,400	10,253,400
営業外収益	71,062,000	72,787,384	1,725,384

(支出)

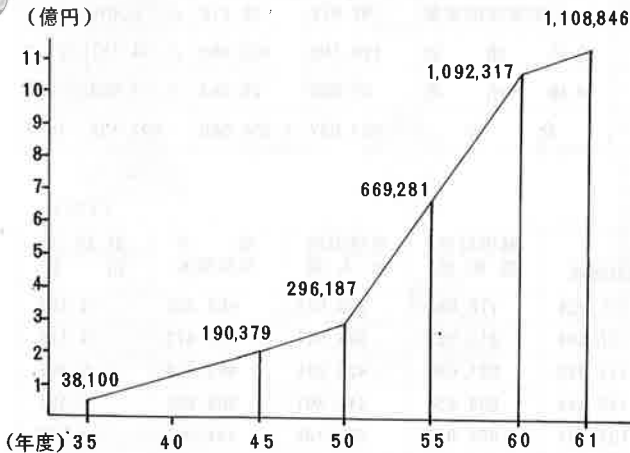
(円)

区分	予算額	決算額	不用額
水道事業費用	146,114,000	142,820,753	3,293,247
営業費用	115,776,000	112,683,301	3,092,699
営業外費用	30,338,000	30,137,452	548
予備費	200,000	0	200,000

●町の借金（地方債の推移）

(千円)

(億円)



●町有財産

昭和62年3月31日現在

土地 654,225 m ²	
建物 26,219 m ²	
山林 276,245 m ²	
出資による権利 3,331,000 円	
土地開発基金 698 m ²	
財政調整基金 1,130,552,840 円	

産 業

● 産業別就業者数の推移 (国調)

昭和30年	第1次産業 (56.3%)	第2次 (14.5%)	第3次 (29.2%)
昭和35年	(51.9)	(16.4)	(31.7)
昭和40年	(42.0)	(20.3)	(37.7)
昭和45年	(32.6)	(25.2)	(42.2)
昭和50年	(19.4)	(29.4)	(51.2)
昭和55年	(17.8)	(29.3)	(52.9)
昭和60年	(14.4)	(31.1)	(54.5)

● 産業別就業者数

(国勢調査より)

区分	種別	30年		35年		40年		45年		50年		55年		60年	
		就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%
第1次産業	農業、林業、狩猟業 漁業、水産、養殖業	2,223	56.3	2,231	51.9	1,579	42.0	1,302	32.6	687	19.4	703	17.8	552	14.4
第2次産業	鉱業、建設業、 製造業	571	14.5	703	16.4	764	20.3	1,007	25.2	1,039	29.4	1,156	29.3	1,187	31.1
第3次産業	卸小売業、金融 保険業、その他	1,156	29.2	1,363	31.7	1,415	37.7	1,686	42.2	1,813	51.2	2,085	52.9	2,081	54.5
	計	3,950	100.0	4,297	100.0	3,758	100.0	3,995	100.0	3,539	100.0	3,944	100.0	3,820	100.0

● 所得者別総所得金額

(単位：千円)

所得者区分	年次	56	57	58	59	60	61
給与所得者		3,770,962	4,169,229	4,449,951	4,632,720	4,703,028	4,793,182
営業所得者		361,315	363,436	356,358	383,393	426,386	430,168
農業所得者		12,809	8,370	8,057	6,321	25,662	11,678
その他事業所得者		438,791	418,184	361,505	389,608	486,756	408,416
その他の所得者		43,994	54,390	49,265	68,924	67,548	64,060
譲渡所得者		131,403	138,732	57,687	286,317	1,042,415	615,078
計		4,759,274	5,152,341	5,282,823	5,767,283	6,751,795	6,322,582

農 業

●農家数の動き

年 度	総 数	専 業	第1種兼業	第2種兼業
35	745	135	284	326
40	681	49	278	354
45	608	34	198	376
50	470	24	144	302
55	430	23	120	287
60	387	31	25	331
61	378	32	37	309

●主要作物収穫面積の累計比較(a)

年次	水 稻	麦 類	甘 藷
35	33,850	6,230	2,780
40	32,835	2,438	1,629
45	28,108	749	710
50	22,549	4	273
55	19,930	0	251
60	19,357	16	180
61	19,072	20	299

●経営規模別農家数の動き

年 度	総 数	経営規模					例 外 規 定
		10~ 30 (a)	30~ 50 (a)	50~ 100 (a)	100~ 150 (a)	150 以上 (a)	
35	745	221	123	215	157	17	12
40	681	192	106	199	154	23	7
45	608	155	104	187	132	30	—
50	470	96	83	206	71	11	3
55	430	89	81	185	59	13	3
60	387	65	66	183	50	21	2
61	378	56	78	161	58	22	3

●農業機械所有台数

年 度	動力耕うん 機農用トラ クター	動 力 噴霧機	動 力 散粉機	バイ ン ダ ー	自脱型 コンバ イン	米麦用 乾燥機	田植機	農用トラ ックオ ート三輪
50	398	45	23	198	8	305	141	37
55	478	—	—	250	113	322	210	—
60	501	—	—	217	164	311	254	—
61	525	—	—	※	178	303	259	—

※調査対象外

●農家の推移

年 度	農家 数 (戸)	増 減		農家 人口 (人)	増 減		一戸当 たり農 家人口 (人)	町 総 世帯数 (戸)	町総世 帯数に 対する 農家率 (%)	町 総 人 口 (人)	町総人 口に対 する農 家人口 率(%)	経 営 耕 地 面 積			
		数 (戸)	率 (%)		数 (人)	率 (%)						総面 積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	その 他 (ha)
35	745	—	—	4,019	—	—	5.4	2,047	36.4	9,273	43.3	467	359	107	1
40	681	△ 64	△ 8.6	3,459	△ 560	△ 13.9	5.1	2,067	32.9	8,815	39.2	449	355	91	3
45	608	△ 73	△ 10.7	2,882	△ 577	△ 16.7	4.7	2,136	28.5	8,475	34.0	418	341	70	7
50	470	△ 138	△ 22.7	2,204	△ 678	△ 23.5	4.7	2,263	20.8	8,484	26.0	300	247	46	7
55	430	△ 40	△ 8.5	1,941	△ 263	△ 11.9	4.5	2,432	17.7	8,486	22.9	290	234	51	5
60	387	△ 43	△ 10.0	1,667	△ 274	△ 14.1	4.3	2,473	15.6	8,468	19.7	283	226	51	6
61	378	△ 9	△ 2.3	1,620	△ 47	△ 2.8	4.3	2,495	15.2	8,471	19.1	282	225	51	6

漁業

●年次別組合水揚高

(単位 千円)

種 別	御 宿			岩 和 田		
	59 年	60 年	61 年	59 年	60 年	61 年
魚 類	263,875	210,408	230,108	578,185	420,050	598,593
貝 類	118,324	115,211	76,635	361,288	314,949	189,849
藻 類	304	112	166	97	43	27
計	382,503	325,731	306,909	939,570	735,042	788,469

●おもな魚種別水揚量

(単位:トン)

魚種別	御 宿			岩 和 田		
	59年	60年	61年	59年	60年	61年
た い	0	1	2	1	3	5
わらさ	0	1	0	3	2	1
ひらめ	1	2	6	3	8	33
さ ば	1	0	1	0	0	0
ぶ り	0	0	0	0	0	1
い か	185	54	60	257	103	123
かつお	111	27	100	287	107	226
いなだ	0	0	0	67	9	132
め じ	9	3	2	10	2	4
まぐろ	10	5	2	30	2	1
さより	1	0	0	0	0	0
このしろ	0	16	0	0	0	0
鮑	14	15	9	54	51	26
さざえ	23	24	17	55	50	24
雑 魚	20	31	11	73	86	31
いわし	775	1,045	695	0	0	0
え び	0	0	1	4	4	5
計	1,150	1,224	906	844	427	612

●漁港施設

(61年)

項 目	御 宿	岩 和 田
	けい 船岸延長 (m)	486
外かく施設延長 (m)	686	1,032
最多入港トン数 (t)	29	10
登録漁船隻数 (隻)	76	180
利用漁船隻数 (隻)	136	193

●漁業協同組合の状況

(4.1現在)

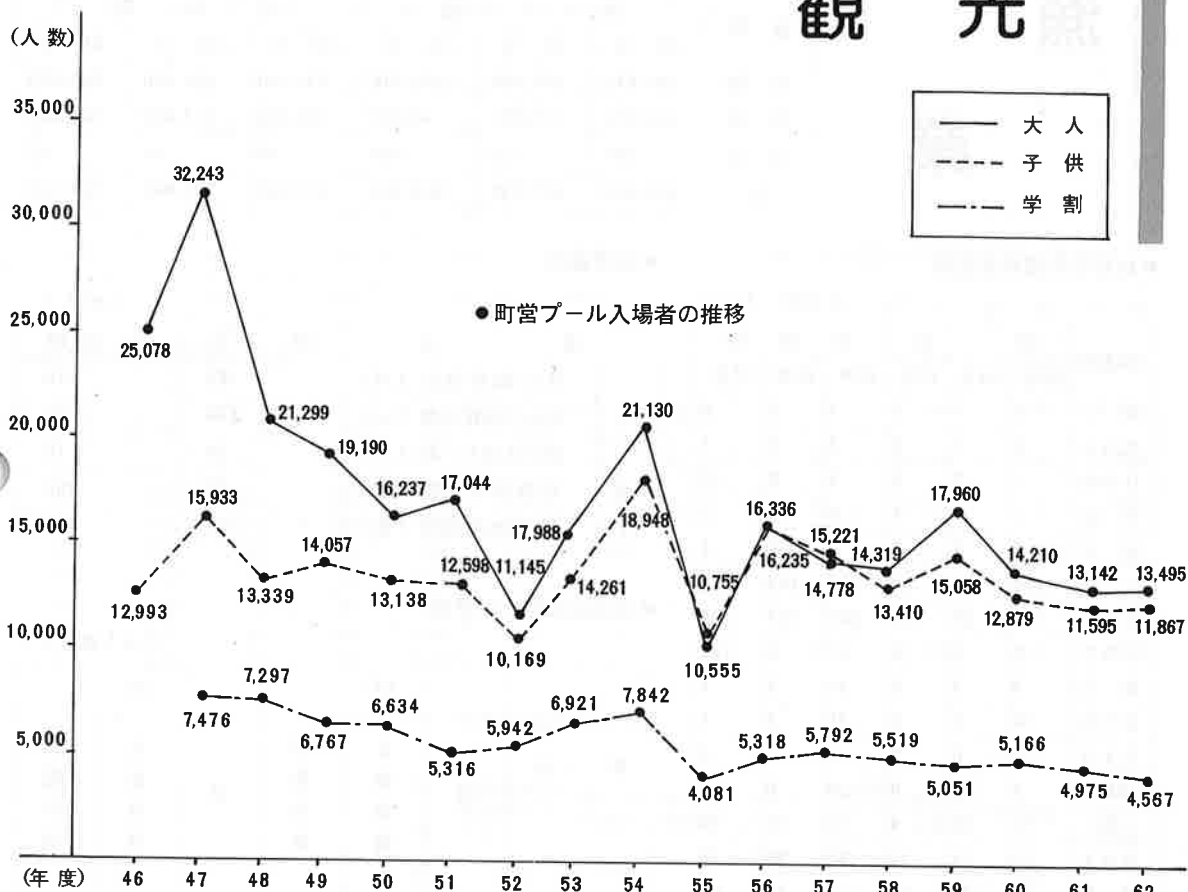
組 合	61			62		
	計	正組合員	準組合員	計	正組合員	準組合員
御 宿	198	122	76	198	122	76
岩 和 田	466	459	7	468	461	7

●漁種別水揚量

(単位:トン)

種 別	御 宿			岩 和 田		
	59 年	60 年	61 年	59 年	60 年	61 年
ま き 網	775	1,045	695	0	0	0
刺 網	17	0	8	70	71	71
さ ば 釣	1	0	1	0	0	0
い か 釣	185	54	60	257	103	123
そ の 他 の 釣	128	83	120	368	152	296
そ の 他 の 延 釣	0	0	0	0	0	0
採 貝	37	39	18	109	101	50
採 藻	5	3	2	2	0	0
そ の 他 の 漁 業	2	0	2	38	0	72
総 計	1,150	1,224	906	844	427	612

観光



●観光施設及び入込数

区分	年度	38年	40年	45年	50年	55年	60年	61年
	観光客数(人)	夏季	220,000	344,000	1,120,000	1,160,000	905,000	1,406,000
	年間	249,000	396,000	1,310,000	1,311,000	1,041,000	1,659,000	1,779,000
旅館(軒)		9	8	20	21	17	17	17
民宿(軒)		-	51	200	250	270	244	244
貸家貸間(軒)		60	108	250	120	117	115	115
海の家(軒)		10	26	33	32	32	31	30
駐車台数(有料)		-	1,307	12,512	15,151	18,018	31,346	31,763
御宿駅の収入(夏季千円)		9,996	19,591	51,389	74,019	89,195	140,748	143,754
観光収入(推計千円)		185,650	249,300	369,000	942,480	1,850,805	3,686,808	3,713,577
町の観光投入額(千円)		830	4,230	56,000	12,504	20,968	30,434	66,679

●工業（製造業）の状況

商工業

年	事業所数	従業者数	年間製造品出荷額
59	36戸	475人	2,250百万円
60	35	489	2,259
61	31	449	1,958

●商業の状況
業種別商業数など

（60年6月1日現在）

分類	商店数	従業者数	年間商品販売額
卸売業	10戸	51人	158,967万円
織物・衣服・身のまわり品小売業	13	41	41,867
飲食料品小売業	78	206	245,785
自動車・自転車小売業	5	11	9,319
家具・建具・じゅう器小売業	17	46	43,786
その他の小売業	42	148	195,427
合計	165	503	695,151

運輸・通信

●自動車保有台数

（62. 4. 1）

車種	御宿町	夷隅郡市計
普通乗用車	44	509
小型乗用車	1,694	19,102
トラック	240	3,622
貨客兼用車	200	2,101
バス	16	165
軽自動車 （4輪）	792	11,773
特殊車	4	273
計	2,990	37,545

●商業の推移

年	商店数	従業者数	年間商品販売額
57	209戸	599人	809,280万円
60	165	503	695,151

※60年調査は飲食店は調査せず

●電話加入状況

(12.31現在)

年次	開 通 加 入 電 話 数									公衆電話
	総 数			単 独 電 話 数			共 同 電 話 数			
	総 数	事務用	住宅用	総 数	事務用	住宅用	総 数	事務用	住宅用	
32	184	180	3	180	180	-	-	-	-	1
39	335	269	55	271	221	39	64	48	16	11
50	2,125	994	1,131	1,888	918	970	237	76	161	56
55	2,879	1,103	1,776	2,689	1,047	1,642	190	56	134	56
60	3,283	1,185	2,098	3,213	1,173	2,040	70	12	58	73
61	3,320	1,289	2,031	3,291	1,187	2,104	29	12	17	65

建設

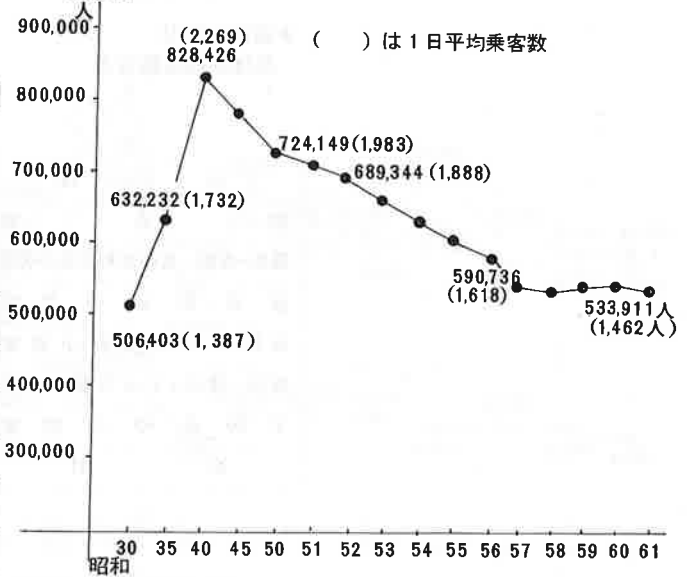
●町道の内訳

(62.4.1)

項 目		数 値
道	実 延 長(m)	242,067.8
	面 積 路 面(m ²)	670,210
	改 良 済 延 長(m)	48,631.9
	舗 装 済 延 長(m)	62,927.1
	自動車交通不能道延長(m)	140,385.6
	歩 道 延 長(m)	5,312.8
	防 護 柵 延 長(m)	5,523.3
路	歩 道 橋(m)	2ヶ所 27
	市町村道と鉄道との交差箇所数	7
	うち立体交差箇所数	4

実延長の内訳	1.5m~4.5m (m)	193,435.9
	4.5m以上 (m)	48,631.9
	計	242,067.8

●御宿駅乗客数



●建築届出件数の推移

年	専 用 住 宅	旅館店 舗簡易 宿泊所	共 同 住 宅	併 用 住 宅	工 場 倉 庫	その他	計
56	73	6	2	4	3	16	104
57	56	2	3	6	3	13	83
58	64	10	1	3	0	9	87
59	76	9	3	2	6	14	110
60	62	10	1	6	4	8	91
61	52	16	1	8	7	2	86

● 林道の現況

項目		本数	数値
林業施設	林道延長(m)		
	市町村	15	13,910 m
	国有	-	-
	その他	-	-
	計	15	13,910
	林野面積(ka)		1,451 ka

● 道路の現況

(62.4.1)

路線名		単位	町道	県道	国道	計	
路線延長	本		1,440	4	1	1,445	
	m		242,067.8	11,263	3,754	257,084.8	
内訳	改良済延長	m	48,631.9	10,535	3,754	62,920.9	
	未改良延長	m	193,435.9	729	-	194,164.9	
内種別	橋梁延長	m	90ヶ所 524.4	117	14	655.4	
	隧道延長	m	9ヶ所 448.9	109	339	896.9	
幅員別内訳	改良済	1.3m以上	m	38.9	7	-	45.9
		5.5m以上	m	13,726.1	7,197	3,532	24,455.1
		5.5m未満	m	34,866.9	3,332	222	38,420.9
	未改良	5.5m以上	m	-	-	-	-
		3.5m以上 3.5m未満	m	-	100	-	100
			193,435.9	629	-	194,064.9	
自動車交通不能	m		140,385.6	-	-	140,385.6	
路面別内訳	砂利道		m	179,140.7	438	-	179,578.7
		セメント系	m	4,354.6	122	339	4,815.6
	舗装道	アスファルト系 高級	m	-	6,749	3,415	10,164
		ルト系 簡易	m	58,572.5	3,955	-	62,527.5
	計	m	242,067.8	10,826	3,754	256,647.8	

教 育

● 町立小・中学校の児童・生徒・教職員数

(62.5)

学校名	児童生徒数	学級数	教員数	事務 栄養職員	務員 調理員	用務員
御宿中	362	10 (1)	19	1	4	0
御宿小	418	13 (1)	19	2	4	0
岩和田小	101	6 (1)	11	1	2	0
布施小	190	6 (1)	11	1	0	1
計	1,071	35 (4)	60	5	10	1

() はうち特殊

● 児童・生徒数の推移

区分 年度	児童生徒数		
	総数	小学校	中学校
30	2,063	1,659	404
40	1,828	1,153	675
50	1,220	848	372
60	1,155	773	382
61	1,136	755	381
62	1,080	714	366

● 中学校卒業生進路状況

卒業年度	高校進学		就職		各種学校		計
	進学者数	%	就職数	%	人数	%	
35	71	51	66	48	2	1	139
45	130	72	42	23	8	5	180
50	128	88	10	7	8	5	146
55	124	87	11	8	7	5	142
60	117	97	2	2	1	1	120
61	115	92	5	4	5	4	125
62	127	95	4	3	2	2	133

● 社会教育施設利用状況

(人)

年 度	公民館		資料館		海洋センター体育館		同 プール	
	一 日 平均	年 間 利用者数	一 日 平均	年 間 利用者数	一 日 利用者数	年 間 利用者数	一 日 平均	年 間 利用者数
60	101.1	30,129	6.0	1,813	188	55,190	181	17,050
61	119.7	35,803	5.5	1,660	181	53,616	127	11,975

防 災

●災害時の避難場所

名 称	所 在 地	電 話
御宿小学校	久保 2085	2009
御宿中学校	新町 68	2101
岩和田小学校	岩和田 1075	2254
岩和田青年館	〃 788	4392
サンドスキー場 (避難集合地)	〃 1354	
布施小学校	上布施 909	2437
実谷区民館	実谷 586	5970
八坂神社 (避難集合地)	須賀 525	
御宿家政高校	久保 1551	2911
B & G 海洋センター体育館	〃 1135	4143

●防災無線受信装置設置場所 (固定系システム)

番号	名 称	番号	名 称
1	御宿隧道	15	高山田-2
2	御宿漁港	16	西林寺
3	中央海水浴場	17	上布施-1 (新宿)
4	岩和田海水浴場	18	上布施-2 (新宿)
5	岩和田漁港	19	上布施-3 (小幡)
6	岩和田火の見脇	20	上布施-4 (小幡)
7	六軒町	21	上布施-5 (立山)
8	新町公園	22	上布施-6 (新久井)
9	須賀町道	23	上布施-7 (新久井)
10	須賀 (久保)	24	上布施-8 (実谷下)
11	御宿中学校	25	実谷上公会堂
12	町堂グラウンド	26	七本-1
13	高山田-1	27	七本-2
14	第6分団器具置場		

●消防の施設状況

62. 3. 31

消 防 ポ ン プ 車	7
水 そう 付 ポ ン プ 車	1
小 型 ポ ン プ	2
指 揮 広 報 車	1
消 火 水 そ う	80
消 火 栓	57

●消防団

団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
1	3	15	8	9	49	180	265

●火災事故発生件数

年 次	火 災 件 数				焼 失 面 積 (㎡)		損害額 (千円)
	総 数	建 物	山 林 原 野	その他	建 物	山 林 その他	
57	1	1	0	0	59	0	1,000
58	1	1	0	0	452	0	9,700
59	0	0	0	0	0	0	0
60	0	0	0	0	0	0	0
61	3	2	1	0	212	1,500	12,957

●移動系システム

役場に設置された基地局無線装置と車携帯型陸上移動局による情報の伝達、収集システムです。行政事務の連絡や災害時の情報収集を行います。

基地局 (制御器 6 台)	1 局
陸上移動局、車携帯型	17 局
シヨルダー型	8 局
携 帯 型	3 局

●交通事故発生件数の推移

(1. 1 ~ 12. 31)

年	区分	発生件数	死者数	負傷者数
57		47	0	64
58		34	0	43
59		40	0	64
60		49	0	71
61		31	1	39

保 健

● 胃がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
60年度	2,700人	333人	12.5%
61年度	2,798人	378人	13.5%
62年度	2,519人	401人	15.9%

● 子宮がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
60年度	2,950人	133人	4.5%
61年度	2,497人	185人	7.5%
62年度	2,243人	234人	10.4%

● 健康診査受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
60年度	2,163人	1,134人	52.4%
61年度	1,729人	966人	55.9%
62年度	1,617人	906人	56.0%

国保・年金

国民年金受給者の状況

● 福祉年金 (円)

年度	種別	老 齢		障 害		合 計	
		件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
57		426	115,052,030	56	23,192,341	482	138,244,371
58		390	105,958,678	54	23,716,318	444	129,674,996
59		347	95,474,007	58	26,839,847	405	122,313,854
60		313	85,176,173	59	27,138,398	372	112,314,571
61		283	92,371,000	法改正〔障害基礎〕 57	39,296,600	340	131,667,600

● 国民健康保険加入者及び給付の状況

区分 年度	加 入 者			給 付	
	世 帯	加入者	加入率	給付額 (千円)	増加率
32年度	1,518	7,290	72.9%	9,460	-
50 "	1,681	5,402	63.0%	249,287	2,635.2
55 "	1,617	4,793	67.1%	414,183	166.1
60 "	1,609	4,462	64.5%	367,043	88.6
61 "	1,625	4,446	65.6%	392,239	106.9

● 拠出年金 (円)

年 度	老 齢 年 金		通 算 老 齢 年 金		障 害 年 金		母 子 年 金		遺 児 年 金		寡 婦 年 金		合 計		被 保 険 者 数
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	
57	907	262,911,500	97	11,185,100	32	21,386,400	14	9,979,200	1	311,400	1	191,300	1,052	305,964,900	2,605
58	966	281,759,200	114	13,742,300	39	26,170,200	12	8,553,600	1	311,400	2	424,100	1,134	330,960,800	2,502
59	980	293,778,400	128	16,901,900	43	29,121,900	13	9,439,400	-	-	4	965,800	1,168	350,207,400	2,448
60	1,039	325,791,000	143	19,850,000	44	30,858,000	12	8,921,000	-	-	5	1,290,000	1,243	386,710,000	2,383
61	1,041	337,679,000	149	21,461,000	41	30,735,000	12	9,528,000	-	-	5	1,985,000	1,274	410,779,000	2,495
	法改正 (61年4月から)														
	26	9,391,000	〔老齢基礎〕			〔障害基礎〕			〔遺族基礎〕						

環 境

●ゴミ収集の状況

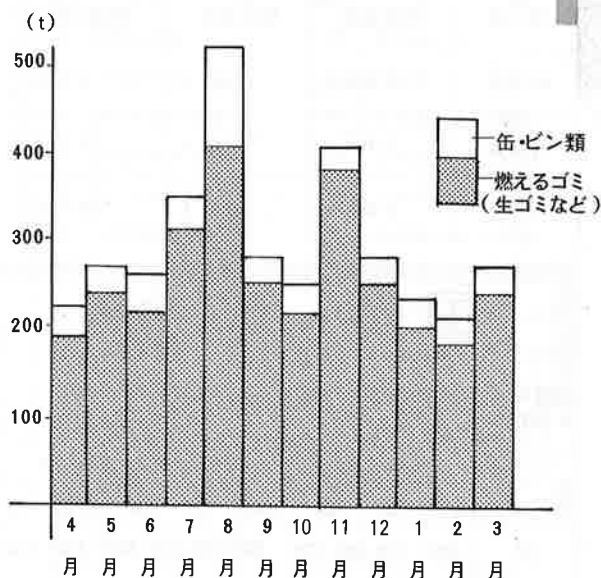
年度	可 燃 物	不 燃 物	合 計	燃 却 日 数
60	2,650 ^t	489 ^t	3,139 ^t	166 ^日
61	3,152	439	3,591	153
62	2,216 [※]	482 [※]	2,698 [※]	97 [※]

※62年度は4～11月まで

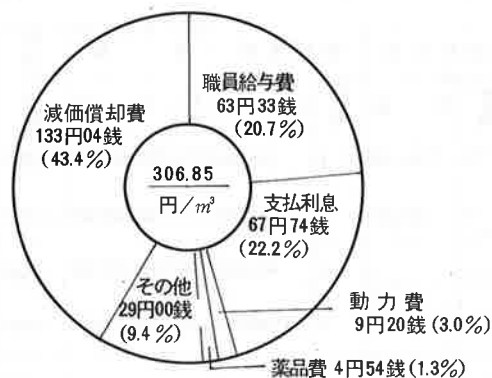
●し尿処理施設 (夷隅郡環境衛生組合)

処 理 計 画 人 口 (人)	8,233	
処 理 人 口 (人)	8,158	
年 間 総 排 出 量 (kl)	4,069	
年 間 総 収 集 量 (kl)	4,069	
年 間 総 処 理 量 (kl)	下 水 道 入 入	0
	処 理 施 設 処 理	4,069
	そ の 他	0
	計	4,069
収 集 職 員 数 (人)	4	
パ キ ュ ー ム 車	1	

●月別ゴミ収集量 (61年度)



上 水 道



・水1トンをつくるのに必要な費用

●水道ダイジェスト (61年度決算から)

区 分	単 位	61年度	60年度	増 減
年度末給水人口	人	5,785	5,603	182
年度末給水戸数	戸	1,890	1,828	62
年間取水量	m ³	485,708	484,620	1,088
年間給水量	m ³	469,358	461,361	7,997
年間使用水量	m ³	443,907	430,431	13,476
1カ月平均給水量	m ³	39,113	38,447	666
1カ月平均使用水量	m ³	36,992	35,869	1,123
1日最大給水量	m ³	3,670	3,230	440
1日最大使用水量	m ³	3,468	3,014	454
1戸1カ月平均使用水量	m ³	19.6	19.6	0
1人1日平均使用水量	ℓ	210	210	0
月平均給水収益	千円	6,121	5,973	148
給水原価	円・銭	306.85	319.07	△ 12.22
資本費	円・銭	201.12	209.26	△ 8.14
施設利用率	%	21.5	21.1	0.4

姉妹都市

昭和53年11月1日、歴史とロマンに満ちた白亜のメキシコ記念塔（日西墨三国交通発祥記念碑）を、メキシコ大統領ホセ・ロベス・ポルティエーリョ氏が訪れてから早くも9年が過ぎました。

私たちは、先人たちの熱き心を胸に、姉妹都市アカプルコ市と末永く友好親善を温めていきたいと思ひます。

【姉妹都市】

アカプルコ市（メキシコ）

昭和53年8月姉妹都市協定締結



メキシコ記念塔

●指定文化財

区分	番号	名称	所在地	所有者	指定年月日
県指定	1	ドン・ロドリゴ上陸地	御宿町岩和田 626	御宿町	41. 12. 2
町指定	1	ドン・ロドリゴ関係遺品	御宿町久保 1, 916	岩瀬 禎之	49. 3. 27
"	2	木造阿弥陀如来坐像	御宿町浜 572 - 1	妙音寺	"
"	3	亀甲地双鶴鏡	"	"	"
"	4	白銅鏡	"	"	"
"	5	木造大日如来坐像	御宿町上布施 1, 474	真常寺	"
"	6	木造如意輪観音坐像	"	"	"
"	7	十王堂縁起	御宿町六軒町	十王堂	"
"	8	最明寺夫婦銀杏	御宿町須賀 668	最明寺	53. 3. 27
"	9	旧役場大蘇鉄	" " 160	御宿町	"
"	10	双盤	" " 668	最明寺	54. 6. 27
"	11	小幡神楽囃子	" 上布施小幡区	保存会	57. 6. 29
"	12	高山田神楽囃子	" 高山田区	保存会	57. 9. 28
"	13	千人塚供養塔	" 新町字千人塚	妙昌寺	59. 1. 11
"	14	閻魔胎内像・十王像	" 六軒町	十王堂	"
"	15	伊勢参宮絵馬	" 上布施	八幡神社	"
"	16	真常寺石塔	" 上布施 1, 474	真常寺	"
"	17	木造阿弥陀如来及び両脇侍像	" 六軒町	十王堂	60. 2. 12
"	18	木造阿弥陀如来坐像	" 浜 618 - 1	観音寺	"
"	19	木造傳祐上人坐像	" 須賀 668	最明寺	"
"	20	紙本著色大田喜藩陣列之図	" 久保 2, 200	御宿町	61. 1. 14
"	21	旧布施村絵図	" 実谷	実谷区	62. 2. 19
"	22	千箇寺参御首題帳	" 上布施 1, 800	吉野 信	"
"	23	孝女竹永志保の碑	" 上布施 827	上布施区新宿	62. 10. 27

指定文化財

先人たちの
遺産

御宿町暮らしのダイジェスト

<p>人口密度</p>  <p>1 Km² に 330 人</p>	<p>家 族</p>  <p>1 世帯に 3.4 人</p>	<p>転 入</p>  <p>1.3 日 1 人</p>	<p>転 出</p>  <p>1.3 日に 1 人</p>
<p>結 婚</p>  <p>11 日に 1 組</p>	<p>離 婚</p>  <p>40 日に 1 組</p>	<p>出 生</p>  <p>4.5 日に 1 人</p>	<p>死 亡</p>  <p>4 日に 1 人</p>
<p>火 災</p>  <p>121 日に 1 件</p>	<p>交通事故</p>  <p>12 日に 1 件</p>	<p>水道使用量</p>  <p>1 人 1 日平均 210 ℓ</p>	<p>ゴ ミ</p>  <p>1 日平均 9.8 トン</p>
<p>町職員</p>  <p>町民 91 人に 1 人 (62年 7 月 1 日現在)</p>	<p>教 員</p>  <p>小学生 17 人に 1 人 中学生 19 人に 1 人 (62年 5 月 1 日現在)</p>	<p>商 店</p>  <p>11.6 世帯に 1 店</p>	<p>町 税</p>  <p>1 人当たりの負担 75,653 円</p>
<p>自動車</p>  <p>1 世帯に 1.2 台</p>	<p>電 話</p>  <p>1 世帯に 1.3 台</p>	<p>救急車出動</p>  <p>4 日に 1 件</p>	<p>町の台所</p>  <p>一般会計からの支出額 町民 1 人当たり 224,850 円</p>

御宿の唄

御宿ブルース

作詩 古谷玲児
作曲 八州秀章
唄 はずらん姉妹

一 あだし人魚よ 七尋八尋
姿いとしや 細がすり
忘れられよか 忘れてなるか
夢の御宿 海女の町 海女の町

二 星の数ほど 寄せては返す
色もとりどり 人の波
光る砂浜 きらめく渚
夢の御宿 海の町 海の町

三 月のあかりに 二人の胸に
乱れ咲く花 月見草
行こが砂丘へ 戻ろか宿へ
夢の御宿 恋の町 恋の町

回想譜

作詩 今城靖児 / 編曲 佐伯亮
唄 藤山一郎

一 星みれば はろかに香く
雲みれば つきせぬ想い
去りゆきし 君は語わねど
御宿の ああ 海の恋しさ

二 風吹けば 風もさびしや
虫鳴けば 虫もわびしや
ただひとり 山荘にあれば
堪えがたく ああ 涙ながるる

三 朝には あしたの祈り
夕には ゆうべの願い
嫁ぎゆく 妹にのみ
いまはまだ ああ 幸をこののみ

房州御宿音頭

房州 御宿宝の庫よ

ハソリヤ ドウシタ ドウシタ
海に銀鱗 海に銀鱗 田に黄金
ハソリヤ ヤッサイ
ヤッサイ ドントナ

房州御宿 網代の浜は
銀の砂浜 銀の砂浜 金の浜
潮は黒潮 流れて巻いて
風は汐風 風は汐風 恋の風

あんな男を梶子にもつて
ぬれて苦労が ぬれて苦労が
してみたい

お前や水底 わしゃ風の中
つなは一筋 つなは一筋
血が通う
板子一枚いといはせぬが
ぬれるお前が ぬれるお前が

いとおしい

房州御宿旅立つ朝は
雨も降らぬに 雨も降らぬに
袖しぼる

舟は帆まかせ 帆は風まかせ
わたしやお前の わたしや
お前の つなまかせ

御宿離し

作詩 作曲 加藤まさを
編曲 吉野達弥
唄 中里このえ

一 ドンとドンとドンと男波が躍る
躍る男波に抱かれて歌う
女波いとしや月夜の晩は
御宿離して浮かれ出す

二 山にや名物メキシコタワー
浜の砂丘にや王子と姫が
月の沙漠を揺られて越える
対の駱駝の旅姿

三 磯の華かよ岩和田の漁女は
浮いて沈んで浮いて
浪がドンと来りや乳房が揺れる
誰が住むやらあの胸に

四 唇は砂丘に浜唇顔が
夜は砂丘に宵待草が
粋な浜風花から花に

若い一人の燃える頬に

五 椰子の葉蔭で佳い夢見たよ
野暮なトウロク 磯パン無しの
可愛い人魚が燐燐岩で
忘れちゃおえねえ また来てね

月の沙漠

作詩 加藤まさを
作曲 佐々木すくる

一 月の沙漠を はるばると
旅のらくだが 行きましたた
金と銀との くらおいて
二つならんで 行きましたた

二 金のくらは 銀のかめ
銀のくらは 金のかめ
二つのかめは それぞれに
ひもでむすんで ありましたた

三 先のくらは 王子さま
あとのくらは お姫さま
乗ったふたりは おそろいの
白い上衣を 着てました

四 広い沙漠を ひとすじに
ふたりはどこへ 行くのしょう
おぼろにけがる 月の夜を
ついのらくたは とほとほと
砂丘を越えて 行きましたた
だまって越えて 行きましたた



町内の官公署・団体施設一覽

●役場関係

御宿町役場 久保二二〇〇 ☎ 二五一一

公民館 久保二二〇〇 ☎ 二九四七

歴史民俗資料館 久保二二〇〇 ☎ 四三一

御宿町児童館 新町四一九 ☎ 四五四二

岩和田児童館 岩和田七八八 ☎ 四三九二

社会福祉協議会 久保二二〇〇 ☎ 二五一

御宿海洋センター 久保二二三五一一 ☎ 四一四三

清掃センター 久保一〇四一 ☎ 四六一三

浄水場 実谷五一九 ☎ 四八五五

町営運動場(管理棟) 久保一一三五 ☎ 四七九四

●学校施設

御宿保育所 久保二二八〇 ☎ 二四五九

岩和田保育所 岩和田九二六 ☎ 二九四四

御宿小学校 久保二二三二 ☎ 二〇〇九

岩和田小学校 岩和田一七〇三 ☎ 二二五四

布施小学校 上布施九〇九 ☎ 二四三七

御宿中学校 新町六八 ☎ 二二〇一

県立御宿家政高等学校 久保一五一一 ☎ 二九一一

●警察

駅前駐在所 須賀一八八 ☎ 二一〇〇

六軒町駐在所 六軒町四八八 ☎ 二七一九

布施駐在所 上布施八七五 ☎ 四四九九

●その他

御宿郵便局 須賀一九一 ☎ 二〇五三

御宿郵便局 新町三九七 ☎ 二八七一

布施郵便局 上布施一四〇〇 ☎ 二八七〇

御宿町漁業協同組合 浜二二六四 ☎ 二六一一

岩和田漁業協同組合 岩和田九四五 ☎ 二〇一一

夷隅中央農協御宿支所 須賀一六七 ☎ 二四二四

運輸省御宿航空標識所 岩和田一七一三 ☎ 二六五四

御宿町観光協会 久保二二〇〇 ☎ 二四一四

御宿町体育協会 久保二二〇〇 ☎ 二九四七

御宿町商工会 久保二二〇〇 ☎ 二八一八

御宿町商店振興会 久保二二〇〇 ☎ 二八一八

御宿町民宿組合 須賀一九一 ☎ 二二三五

御宿町旅館組合 須賀一九一 ☎ 四四一九

※御宿町の市外局番は〇四七〇六八です。六三年三月ころから市外局番が(〇四七〇)に、市内局番(六八)が新設されます。

●発行 千葉県御宿町 ●発行責任者 滝口栄蔵

●編集 町総務課